

“子ども参画”子どもが育つ空間づくり

地域活動支援指導者養成研修会

日時：平成25年6月18日

会場：東松島市コミュニティセンター 参加者21名

<趣旨>

講話や実践発表などを通して地域活動支援についての理解を深めるとともに、地域活動のサポートやコーディネートができる人材の養成を図る。子どもの遊びや体験活動の場が少なくなっている現実を踏まえ、体験活動の場づくりに関する研修会を実施する。

講義「びっくり! たまげた! サイエンス」

講師 fm いずみ797 取締役事業部長
サイエンスインストラクター, 防災士
阿部 清人 (あべ きよと) 氏

13:00 受付

13:30 } 講義・演習

15:50 } 質疑応答

16:00 閉会

【科学で感動共有体験】

今回の研修会は「子どもの知的好奇心をくすぐる科学的活動」がテーマでした。子どもたちの理科離れが叫ばれて久しいですが、自然事象には摩訶不思議なことがたくさんかくれており、そういった事象に、子どもと大人と一緒にふれることにより、感動を共有できるような場づくりのヒントを提供したいと考えました。

【防災エンスショー】

阿部先生は、地震のメカニズムや防災に役立つトピックを、科学実験を交えて解説するサイエンスショーを開発し、独自に「防災エンスショー」として全国各地で演示しています。

今回の研修会では、地震による「液状化現象」の仕組み、建物の高さや揺れ方の関係について実験を通して説明してくれました。

【空気砲にとよめき】

研修の最後は、持参したダンボールを使ってみんなで「ダンボール空気砲」を作りました。参加者の表情は真剣そのもの。ガムテープで入念に穴という穴をふさぎ、いざ、実験。白いドーナツ状の輪が“発射”されるたびに驚嘆の声がもれました。

そして、阿部先生の巨大空気砲が登場!! 悠然と進む白煙に、とよめきの声があがりました。



【感動体験をプロデュース】

今回は、身近な材料を生かした科学実験を取り上げました。
ぜひ、科学を通じた感動体験をみんなで共有できる空間をみなさんのアイデアでプロデュースしていただければと思います。